

会 議 録

1. 会議名	令和7年度 新時代創造プラン
2. 開催日	令和7年11月7日（金）
3. 出席者	市長、副市長、小西市長公室長、田家総務部長、森田総務部副部長 担当部：阪上企画財政部長、的場企画財政部副部長、後藤財政課長 山川財政課主査、稲治企画政策課長

4. 会議の目的
令和7年度策定の新時代創造プランについて議会へ説明するため、方向性と提出資料の内容を協議
5. 補足説明（現状、課題など）
①資料1ページの「2. 総合計画実現に向けて必要となる一般財源」の枠のソフト事業で（2）の表記は令和7年度分から「一般施策枠」に変更。また、建設事業等の公債費をハード事業として別項目で記載する。 ②資料6ページに令和8年度から新たにに取り組む項目を記載する。 ③資料7ページの「主な取組み項目」以外で、令和7年度までに着手した、また完了した取組みはまとめて記載する。
6. 担当部の方向性
上記①、②、③を含めて資料に基づいて説明する
7. 質疑・意見等
意見：6ページの「部活動の社会移行の推進」は支援を拡充する方向で決定しているため、その支援策を踏まえた金額を記載すること。 意見：「部活動の社会移行の推進」は、実施計画で協議した項目をベースに金額を記載してはどうか。 意見：7ページの「こども・若者の意見表明の実現」について、R8年度以降が「－」になっているため、推進しないという誤解を与える可能性がある。 協議中の事業はあるが、今後の方向性を踏まえて記載内容を検討すること。 意見：6ページ、7ページの一覧を説明するための注釈で「－」の意味を記載している。 この箇所では分かりづらいため、「R8年度から取り組む新規・拡充事業」と「R7年度までに着手した新規・拡充事業」のタイトルの下に記載してはどうか。 意見：8ページの取組み項目について、「経常経費の見直し」は庁内で継続的に行っているため、項目に追記すること。
8. 結論
会議での意見を踏まえて内容を修正し、資料に基づいて市議会へ説明する。